

ここで紹介するニュースは、ほとんどの場合、日頃からOS・アプリケーション・アンチウイルスのデータベース等を常に最新の状態に保つこと、併せて、UTM導入等によるネットワーク全体の防御を行うことで対策できます。

●高校PCへ偽サポートによる不正アクセス…個人情報約1,700人分流出の可能性

<https://www3.nhk.or.jp/news/nagano/20230824/1010027931.html>
<https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/koko/kojiniouhouryuushutunokanousei.html>



このニュースをザックリ言うと…

- 8月24日(日本時間)、長野県教育委員会より、同県立**高等学校の業務用PCが不正アクセスを受けた**と発表されました。
- 発表によれば、同20日に高校教諭の私用**携帯電話に料金未払いの連絡**が届き、記載の電話番号を当該PCで検索した際に**マルウェア感染の警告**が表示、そこに記載された**連絡先に電話して指示に従った結果、遠隔操作を許す結果になった**とされています。
- 当該PCからアクセス可能な共有フォルダー上に**高校の生徒・職員約1,700人分の個人情報**が保管されており、情報が流出したという記録は確認できていないものの、**流出の可能性は否定できない**としています。

AUS便りからの所感等

- 被害を受けた可能性のある個人情報は、2016年度以降の同校**生徒の名前・成績および指導や部活動に関する資料、職員の氏名・電話番号・生年月日**、および**外部指導者の氏名・住所・電話番号・職業**とされています。
- **偽警告画面**等で脅かして、ユーザーに**不正なソフトウェアのインストール等へ誘導する「スケアウェア」**、また**2015年頃から国内で多く確認**されるようになった**「サポート詐欺」**の手口と考えられます。
- 既に**10年近く前から話題**になっているインターネット上の不正行為の手口であり、**7月11日にはIPAから改めて注意喚起**が出されている(<https://www.ipa.go.jp/security/anshin/attention/2023/mgdayori20230711.html>)ように、**組織の管理者や国民生活センター・警察に連絡**すること、また他にも**どのような手口があるか、普段から情報収集**して熟知し、いざ遭遇した場合にも**慎重に行動できるよう備える**ことが重要です。

NHK 長野 県立高校PCに不正アクセス 約1700人の情報流出か

08月24日 17時47分



県教育委員会は、県立高校のパソコン1台が不正にアクセスされ、生徒の成績などを含むおおよそ1700人分の個人情報が出たおそれがあると発表しました。

県教育委員会によりますと、今月20日、北信地区の県立高校の教諭が私用の携帯電話に着信があった番号について、業務用のパソコンで検索したところ、ウイルスに感染したことを示す警告画面と連絡先が表示されました。

教諭がその連絡先へ電話し、電話に出た男の指示に従っているうちに、パソコンが遠隔操作されたということです。

●2024年6月サポート終了のCentOS 7、非公式の延長サポート提供

<https://ascii.jp/elem/000/004/151/4151243/>
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000019.000086813.html>



このニュースをザックリ言うと…

- 8月22日(日本時間)、サイバートラスト社より、Linuxディストリビューション「CentOS」に対する修正パッケージおよび日本語によるテクニカルサポートの提供を行う有償サービス「CentOS 延長サポート LITE」が発表されました。
- 2024年6月にサポートが終了する予定のCentOS 7(AUS便り 2023/07/04号参照)について、同社では9月1日よりテクニカルサポートを、また2024年7月より同社開発による独自の修正パッケージを提供するとしています。
- 既にサポートが終了しているCentOS 6および8についても、同様のサービスを提供することを発表しています。

AUS便りからの所感

- サイバートラスト社ではCentOSと同様のRedHat Enterprise Linux(RHEL)互換ディストリビューション「MIRACLE LINUX」を開発・提供しており、今後同じくRHEL互換である「Almalinux」への開発に合流することも発表しています。

- CentOS 7からの移行先としては、前述したMIRACLE LINUX・AlmaLinuxやRocky Linux・Oracle Linux等の互換ディストリビューションも互換しており、有償延長サポートはそれらに移行できない、あるいは間に合わない事情がある場合に対応したものとなるでしょう。

- やむを得ない理由がない限りは、有償延長サポートの購入を最初から当て込むのではなく、OS(およびそのソフトウェア)を最新のバージョンに保つことはもちろん、そのサポートが切れる前にできる限り余裕をもってアップグレードしていくよう計画的に運用することが肝要です。



サイバートラスト、メンテナンス更新終了のCent OSサポートを強化

2023年08月22日 18時20分更新

文●ASCII

サイバートラストは9月1日より、小規模のシステム向けに1台から導入できる「CentOS 延長サポート LITE」を提供する。

本サービスでは、修正パッケージと日本語によるテクニカルサポート(技術問合せ)をあわせて提供し、CentOS Linux (CentOS) で稼働する小規模システムの運用継続を支援する。

CentOS 6およびCentOS 8についてはすでに、最低限必要とされるセキュリティ対策用のパッケージのリリースを想定したメンテナンス更新が終了しており、CentOS 7については2024年6月30日に終了する。メンテナンス更新終了以降は、重大な脆弱性が発見されてもコミュニティから修正パッケージが提供されず、外部からの攻撃に対して無防備な状態となるため、後継OSへの移行が必要になるという。

●Windows 10・11、8月下旬リリースのプレビューパッチに不具合…一部ハードでブルースクリーン報告あり

<https://forest.watch.impress.co.jp/docs/news/1526068.html>
<https://forest.watch.impress.co.jp/docs/news/1526611.html>
<https://news.mynavi.jp/techplus/article/20230828-2759140/>
<https://learn.microsoft.com/en-us/windows/release-health/status-windows-11-22h2#3149msgdesc>



このニュースをザックリ言うと…

- 8月24日(日本時間)、マイクロソフト(以下MS)より、同23日にリリースされたWindows 10・11の定例外アップデートに不具合が報告されていると発表されました。
- 該当するアップデートは、Windows 10 22H2 KB5029331(ビルド19045.3393)・Windows 11 21H2 KB5029332(ビルド22000.2360)および11 22H2 KB5029351(ビルド22621.2215)で、適用後に再起動すると、「UNSUPPORTED_PROCESSOR」というブルースクリーンエラー(BSoD)が発生することが報告されています。
- 同社による続報では、エラーが生じるのは特定のCPUのサブセットに限定されるとしており(MSI製のマザーボードで問題が発生しているという情報もあります)、該当するデバイスに対しアップデートを配信しないよう対応するとしています。

AUS便りからの所感



- 同社では、起動時に何度かこのような問題が発生した場合、アップデートは自動的にアンインストールされるとしています。

- 通常このような定例外のアップデートが自動的にインストールされることはありませんが、「更新プログラムのチェック」をクリックした場合、あるいはWindows 11で「利用可能になったらすぐに最新の更新プログラムを入手する」が有効になっている場合にインストールされる可能性があります。

- 企業・組織で管理しているPCで事前にこのようなインストール→不具合発生を阻止したいのであれば、グループポリシーやWSUS(Windows Server Update Services)によるWindows Updateの制御を検討すべきでしょう。

2023年8月テストパッチのブルースクリーンは特定CPUが原因～Microsoftが調査結果を発表

影響するデバイスに対し、配信の一時停止措置を講ずる予定

樽井 秀人 2023年8月28日 08:00

この問題は、以下のプレビューパッチをWindows 10/11環境に適用してデバイスを再起動しようとする時、「UNSUPPORTED_PROCESSOR」というメッセージとともにBSoDが発生し、起動不能になるというもの。

- Windows 11 バージョン 22H2 : KB5029351
- Windows 11 バージョン 21H2 : KB5029332
- Windows 10 バージョン 22H2 : KB5029331

Windowsは起動不能になると直近のパッチを自動で削除するため、何度か試すと起動できるようになる可能性がある。